

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人 神奈川県助産師会

はじめに

「助産及び母子保健の普及・啓発」「助産師の資質向上のための教育及び環境整備」を主とし、さらなる適切な事務の運営・財務管理の徹底を目指すとともに、本部との連携活動を図りながら本会の目的達成を目指した。

I 助産及び母子保健の普及・啓発及び調査・研究に関する事業

本会主催の出前講座を主としたセミナー・研修会を開催し、広く多くの人への助産及び母子保健の普及・啓発に努めた。

1 助産及び母子保健の知識の普及・啓発活動

(1) 出前講座・助産師の派遣等

- ・タクシードライバーに助産・母子の知識を普及させるための講習会を開催
講習会依頼 計 3 回実施 60 名×3 回 個人向け講習会 1 回実施 2 名
- ・女性の健康支援を通し、母子保健の知識の普及開発のため企業・学校を対象に「女のための健康講座」を開催：相模女子大学高等部 2 年生 400 名に実施。卒業間近の助産師学生が助産師の多様な働き方を再認識し、自己の将来を考える機会づくりの為の講座を開講。
- ・卒業間近の助産師学生が助産師の多様な働き方を再認識し、自己の将来について考える機会を作るための講座を開催：愛媛助産師会が開催「医療安全と助産記録～産科医療補償制度再発防止に関しての報告書から学ぶ～」に、本会会員を講師として派遣した。受講者 34 名。母子保健研修センター助産師学生を対象に「もうすぐ助産師になる皆さんへ～これからのキャリアを考える～」を実施した。受講者 46 名。

(2) 子育て・女性健康支援事業

- ・助産師が伝える「いのちのはなし」事業の推進
助産師が伝える「いのちのはなし」17 施設実施。
地域向け家族で聴く「いのちのはなし」見学者 7 名。会議にて講義内容の検討、実施心得の作成、地域向け講座の企画をした。参加者合計（延べ）大人 37 名、子ども 37 名。
- ・健康支援センター事業（ハローベビーかながわ）の推進
電話相談 月～土曜日 10 時～16 時 ベビーマッサージ・母乳育児支援等 月 1 回開催
延べ 626 名の助産師で電話相談実施相談件数：668 件
- ・ふれあい助産師サロン
ベビーマッサージ&育児相談・母乳と離乳食・授乳と卒乳についての話 12 回開催
2 ヶ月から 8 ヶ月の児を持つ家族 20 組 参加費：1 組 1,000 円 参加者：のべ 148 組
- ・地域貢献のため「とわ助産院」を開放し、ニーズに合った教室・講演を開催
10 月 8 日をとわの日として、とわ助産院を母子に無償で解放や沐浴クラス（42 組）を開催。
定期的な母子のための教室（ベビーサイン・ボディケア・ベビーマッサージ）、年 4 回助産院開放。
- ・とわ助産院での産後ケア事業による育児支援

(3) 行政機関や関係団体・企業との連携強化

- ・周産期医療ネットワーク参入への取り組みや要望書の提出等、行政機関との連携を強化
- ・各種団体・企業と連携し、沐浴指導等のための助産師派遣

他団体の研修会へ講師派遣推進として赤ちゃん本舗へ講師派遣：アリオ橋本店 12回/年実施
赤ちゃん本舗 湘南テラスモール店 3回/年 実施

企業と連携を図り相談員として助産師派遣：イオン東戸塚店と契約における会議 6回実施。契約・9/23 内覧会参加・H29 3/7・3/24 見直し契約)。イオン東戸塚店にて9月より助産師派遣開始。

- ・広報委員会：ニュースレター（広報誌）の企画、編集作業、の発行。（7月号、12月号）HPのリニューアルを実施。本会活動を紹介する情報等、最新の情報をHPに掲載、更新し、HPの充実を図った。

2 助産師業務の安全管理及び支援業務

<安全管理>

ヒヤリハット等の事例をはじめとし、安全管理にかかわる情報の分析による最新データから助産師を教育し、助産師1人1人が業務上の事故再発を防止及び災害発生時妊産婦、女性の支援体制の確立ができるよう以下の活動を行う。

- ・医療安全のためのリスクマネジメント研修会を開催 参加者：32名

- ・医療事故事例の分析や安全管理の情報提供

安全対策委員会 年12回（毎月）委員会開催し、助産師会（助産所部会・保健指導部会）の異常報告・転院・搬送事例・ヒヤリハット報告について事例検討を実施。助産所で発症した重症事例について当該助産所へ事情聴取、事例分析を実施した。再発防止のための研修課題を会長・安全対策委員で当該助産所管理者へ説明し書類で通知した。

- ・緊急性の高い事故事例調査・相談窓口設置による連絡・連携への対応

緊急の部会集会を1回、部会員会1回、安全対策委員会と協働し事故調査を5回実施。

- ・嘱託医・嘱託医療機関との連携強化を図るための報告会を開催

平成28年6月9日（木）神奈川県内助産所の分娩転院搬送報告に伴い県内3カ所で行われている産後ケアについて現状の内容を発表。参加者数50名。

- ・ガイドラインの遵守の徹底

- ・事故後の助産院へ安全対策委員と協働し対策考案、実施

- ・助産師業務の安全管理を図るため、日本助産評価機構の助産所評価受査を推進

- ・助産師の損害賠償保険への加入推進

- ・保健指導で開業している助産師に対する安全管理基準の周知徹底

2月の部会集会テーマ「ヒヤリハット事例から安全対策を考える」において、ヒヤリハット事例・グッドジョブ事例の報告書の提出を促し、事例集の活用方法、安全管理基準の順守、賠償保険の加入について説明した。

<支援事業>

- ・自然災害時に行政が対策本部実施の際、とわ助産院が「妊産婦・母子対策センターとなり、安全の確保と助産師のボランティア派遣を行う。熊本地震の際、助産院で受入れを行うことをHPに掲載

- ・産科医不足の対策のため助産院留学の制度を設置し、とわ助産院においても助産師・学生の受け入れを行う。
- ・助産所運営の改善支援のため、産婦人科医・行政に要望書の提出を行う 行政、政党に要望書を提出。
- ・すくすく赤ちゃん献金の管理、広報 : すくすく赤ちゃん献金贈呈 (総会にて) ホームスタート
白百合様 50,000 円 H28 年度 献金預かり 3 万円以上寄付者 9 名 (270,000 円本部送金) 他
55,102 円
- ・熊本地震義援金 64,602 円 日本助産師会送金

3 調査・研究

以下の収集データにより調査・研究を行い、その結果をホームページ・会報から公表し、広く多くの人に周知させる。

(1) 各部会等における活動内容のデータ

・助産所の分娩・搬送に関するデータ

重傷事故が多く目標に上がっていた県内助産所の分娩に関するデータ収集と分析を神奈川県母性衛生学会に発表することができなかった。

・助産所の安全管理に対する他者評価の実施

・保健指導部会のヒヤリハット事例に関するデータ

ヒヤリハット事例 3 件、グッドジョブ事例 1 件→部会委員会で検討、安全対策委員会に提出、日本助産師会に提出した。母乳育児支援事故調査票 (7 月) 配布 130 名 回収 92 名 (回収率 71%) →日本助産師会に提出した。都道府県助産師会保健指導部会活動調査に協力。部会長が作成→日本助産師会に提出した。

・助産所実習の受け入れ状況と就職状況のデータ

助産所実習の受け入れ状況と就業状況に関するデータ収集を行った。

(2) 母子保健活動の実態に関するデータ

・子育て・女性健康支援センター事業 (ハローベビーかながわ) のデータ

ハローベビーかながわの電話相談件数・内容を集計し、本部に報告。ホームページに掲載した。

・いのちのはなし事業のデータ

ホームページに調査報告を掲載した。

(3) 助産師が行う研究等

・助産師が行う研究等に関する研究倫理審査の実施

会員が実施する調査・研究に対して、研究倫理審査を行うべく申請窓口を開いていたが、本年度の研究倫理審査申請は 0 件であった。

II 助産師の資質向上のための教育及び環境整備に関する事業

1 助産師及び助産師養成機関学生の能力向上・スキルアップのための研修会・講習会

次のセミナー・研修会を本会運営のとわ助産院を主な会場として開催する。

・助産所部会による最新知識に基づく助産所運営に関する研修会

平成 28 年 7 月 30 日開催 参加者 42 名

・保健指導部会による母子保健指導者のスキルアップ研修会

平成 28 年 7 月 16 日 開催 参加者 59 名 平成 28 年 2 月 4 日 開催 参加者 : 40 名

・勤務部会による勤務助産師スキルアップのための研修会

平成 28 年 6 月 9 日 開催 参加者 56 名 平成 28 年 11 月 17 日 開催 参加者 40 名

平成 28 年 2 月 9 日開催 参加者 46 名

・「ハローベビーかながわ」による相談員スキルアップのための研修会

平成 1 月 27 日開催 参加者 : 50 名

・安全対策（リスクマネジメント）研修会

平成 28 年 10 月 22 日開催 参加者 : 32 名

・災害対策研修会

平成 28 年 11 月 5 日 開催 参加者 7 名 平成 28 年 9 月横浜市市民防災センターの見学ツアー5 名参加。

・新生児蘇生法講習・新生児蘇生法フォローアップ研修

新生児蘇生法 B コース講習会 平成 28 年 2 月 24 日 参加者 25 名、12 月 11 日 16 名

新生児蘇生法スキルアップ (S) コース 平成 28 年 9 月 4 日 参加者 12 名、2 月 19 日 12 名

出張 B コース講習・出張スキルアップ (S) コース講習 S コース 1 件依頼 (産科クリニック)

・産後ケアに関する研修会

平成 28 年 8 月 6 日開催 参加者 38 名 平成 28 年 10 月 29 日開催 参加者 32 名

・助産院留学の推進

・留学及び各種講座見学の手順作成 HP への掲載、報告書の見直し、助産師能力向上のための留学制度について留学生募集のためチラシを配布した。(会員発送、南北関東ブロック研修、各研修にて) 留学者 11 名 各種講座見学 : ふれあい助産師サロン 1 名、いのちの話 (学校) 2 名 (地域向け) 延べ 5 名

・平成 28 年度南北関東地区研修会の企画・運営・開催

平成 28 年 9 月 23 日、24 日 ローズホテルにて開催 参加者 305 名

・「いのちのはなし事業」における講師の育成 : 「地域向け家族で聴く「いのちのはなし」の見学者を述べ 7 名受け入れた。会議開催にて講義内容の検討、実施心得の作成、地域向け講座の企画をした。併せて、助産所実習調整を学校と助産所の連携強化を行い、助産所における実習の受け入れ環境の整備することで実施していく。

実習調整会議 平成 28 年 6 月 17 日 出席者 学校関係 35 校、助産院 6 施設 計 49 名

平成 28 年 12 月 9 日 出席者 学校関係 46 校、助産院 7 施設 計 54 名

2 助産師の労働環境等の改善

以下の活動を行い、労働環境の改善を図ることで助産師・助産所の資質向上のための環境整備に力を入れていく。

(1) 労働環境の改善

・病院・診療所における勤務助産師の待遇改善への取り組み

助産師クリニカルラダーへの取り組みを把握した。

・勤務助産師の復職やリフレッシュ化を支援

研修会の実施。

(2) 助産師・助産所の資質向上のための環境整備

- ・新規開業や契約解除による嘱託医・嘱託医療機関の確保
- ・周産期医療ネットワークに助産所が組み込まれるよう産婦人科医会・行政に要望
- ・事故再発防止のための事例検討
- ・助産業務ガイドライン遵守の徹底
- ・助産所安全管理評価・日本助産評価機構助産所評価の推進
- ・保健指導部会員の情報共有化(メーリングリストの活用)
- ・賠償責任保険加入の推進
- ・保健指導開業助産師(出張以外のすべての有施設助産所)の安全管理基準の周知徹底
7月の部会集会でクリニカルラダーレベルⅢの申請方法について説明した。
- ・助産所における実習受入環境の整備(神奈川県からの支援あり)

Ⅲ助産所の運営

本会の収益事業とし、とわ助産院の健全な運営を行う。妊婦健診・分娩介助・育児相談等の事業を行うとともに、本会の公益目的事業である「助産及び母子保健の普及・啓発」を目指し、以下の活動を行っていく。

- ・産後ケアの受入(横浜市委託事業)産後ケア(28人延べ日数122日)
- ・各種研修会・マタニティヨガ・ベビーマッサージ等開催のための研修室貸出し
助産師・学生の技術向上のための実習の場として活用してもらう。

また、保育園への講演、中学生の職業体験受入等、行政・近隣の子育て機関との連携強化に努め、安全管理指針に基づく従業員への安全管理教育・施設の防犯・防災管理を徹底させ、併せて施設の充実を図ることで本会運営のとわ助産院を安心して安全な施設とすることに努力する。公1参照

中学生の職業体験受け入れ(2名)、入院助産受け入れ(3名)・産後ケア(28人延べ日数122日)。分娩件数46件 妊婦、産後健診498件 母乳マッサージ 517件。スタッフ2名ラダーⅢ取得 1名ALSO認定を受けた。看護学生(7校214名)助産師学生(5校11名)研修生受け入れ(2名)実施。

Ⅳ会員相互扶助に関する事業

本部・他全国部会との連携の強化を図る。特に以下の活動を行うことで、本会の組織強化と福利厚生
の充実を図る。

- ・表彰(すくすく赤ちゃん献金表彰等)別紙
- ・叙勲、表彰推薦
- ・慶弔 ・弔慰金2名
- ・賀詞交歓会 平成29年1月20日 参加者81名(講演:子ども子育て支援新制度 神奈川県の取り組み)
- ・研修会参加補助のためのチケット発行(2000円券3枚)(160枚+特典チケット1枚)

Ⅴその他

本会の基本財源である会費収益の安定化を図るため、会員ネットワーク推進等の会員増加対策の実現を目指す。また、各企業・団体への寄付の依頼活動も税制優遇措置を前面に押し出し、リーフレットの配布・ホームページからの呼びかけ等により、引き続き積極的に行っていく。具体的には、以下の活動を行う。

<会員増加>

・研修会に合わせ、会員交流の場の設定

会員増加策の推進として会員増加促進および神奈川県助産師会の活動周知のために、ビデオメッセージを作成し、研修会の空き時間を利用して上映した。研修会ごとに入会の呼びかけを行った。

・入会者紹介及び入会予約キャンペーンの実施

入会者紹介キャンペーンの実施（入会者、紹介者共に1,000円×2枚のチケット）入会予約キャンペーンの実施（入会4月からでも会員特典は入会予約時から。キャンペーン特典チケット1,000円×2枚の発行）

・研修チケット発行等の会員特典の検討

・退会者発生に係わる対策の検討

<寄付依頼>

・企業向け寄付依頼の案内発送

・関連団体主催の集会参加企業へのリーフレット配賦

関連企業128社に向け、寄付依頼の文書を郵送し、寄付活動を実施した。助産師会主催の集会、研修会等での出店企業に寄付活動を実施した。助産師マップ作成時の企業広告の募集の案（助産師会の寄付の一環）を理事会に出し採用した。研修会費の会員と非会員の修正案を理事会で検討し、採用した。